

星の子だより



第4号：2010年6月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム



緑が美しい季節を迎えました。東北大学病院の外来棟5階にある星の子ルームからも病院構内や青葉山の緑がまぶしく見えます。

星の子ルームは平成13年に国内の大学で初めて設置された病後児保育施設です。仕事を休めないお母さん・お父さんのかわりに2人の看護師と2人の保育士が病気（回復期）やけがのこどもの保育を行っています（詳しくはホームページをご覧ください：<http://www.morihime.tohoku.ac.jp>）。4年前から全学の職員・学生の皆さんに利用されており、平成21年度はのべ498名の利用がありました。

「星の子だより」は、子育てに役立つ情報や星の子ルームからのお知らせをお届けしようと星の子ルームのスタッフが作成するものです。今号も利用者の声や情報が満載です。星の子ルームを利用される方はもちろん、そうでない方にも「星の子だより」の情報をご家庭で役立てていただければ幸いです。また「星の子だより」をご存じない方に今号をご紹介いただければありがたく存じます。

東北大学病院病後児保育室運営委員
東北大学女性研究者育成支援推進室
石井恵子（医学系研究科）



【 お知らせ 】

- ・**初めての利用について**…事前登録は行なっておりません。電話などで予約の上、利用当日に「登録票」「かかりつけ医連絡票」「利用申込書」「こどもカルテ」をご持参ください。
- ・**事前診察について**…「かかりつけ医を受診したけど連絡票を書いてもらい忘れた」等の理由で当院小児科での診察をご希望の方は星の子ルームにお知らせください。特に診察開始時間（9:00）に利用したい方は早めにご連絡ください。その他の時間帯でもできるだけ迅速に対応いたしますのでご相談ください。

利用者の声



病理部 渡辺 みか

昨年度は下二人が大変お世話になりました。かなり人見知り激しいので、最初は心配でしたが、保育士、看護師の方がとても優しく、すぐ慣れてしまいました。一度星の子に行くと、病気が治っても星の子に行きたいと、駄々をこねられますので、かなり居心地がよいのでしょう。一番下の子がひどい口内炎で何も飲食できない状況の時は、少しでも何か口に入れられるものを考えてくれたり、点滴を勧めてくれたりと、きめ細かい心配りをしていただき、おかげでとても元気になりました。子供の具合が悪くても仕事を休めない状況なので、星の子のおかげで安心して仕事ができます。星の子のスタッフの方々には言い尽くせない程感謝しています。

☀️ ほいくしつのように



朝、不安そうな顔で保育室に来る子どもたち…お父さんお母さんと離れる時に大泣きをする姿も少なくありません。すぐに泣き止む子もいれば、しばらく泣き続ける子もいます。でも、9時半のおやつになると気持ちが落ち着いて笑顔になる子がほとんどです。そうなるともう大丈夫。部屋を隅々まで見渡し、気になったおもちゃを見つけると次々と出して遊びだします。また、持参のDVDを観たりおもちゃで遊んだりすることで、安心して過ごしている様子もうかがえます。



🍷 昼食は、年齢によって、すりつぶし、刻み、一口サイズにしたり、症状に合わせた食事（油抜き・消化の良いもの等）に配慮しています。好き嫌いがある時は無理に促しませんが、時には少しでも食べられるよう励ましています。がんばって食べた時は十分にほめるととても嬉しそうです。



🍷 体調を回復するために睡眠時間を多く必要とする子もいるので、当室でのお昼寝の時間は大切な時間のひとつです。入眠の仕方はそれぞれ違うので、なるべく家庭と同じ環境を作るよう努めています。持参のタオルが安定剤になることもあります。お家のおいがして安心するのでしょうか。

🍷 当室では処方薬であればお預かりしています。（市販薬は預かっていません）ところで、「うちの子は薬を飲まなくて困っています」というお母さんいませんか？実は私たちが悪戦苦闘しています。そこで当室での与薬時の様子をお話しましょう。



基本的には少量の水（スプーン1杯程度）で溶いて飲ませています。これで飲めない時は食べ物に混ぜたり（これはお母さんの依頼を受けて）、服薬ゼリー（1回使い切りタイプ）を使用することもあります。でも中には何を試しても拒む子もいます。1才頃までなら少し顔を押しえて一瞬で口の中へ入れる、という手も使えますが、大きい子はそれでは逆効果。ますます薬嫌いになってしまいます。

今まで色々経験してわかったことは、内服時の雰囲気づくりが大切ということです。薬嫌いの子がいるときはみんなで一緒に飲むようにしています。そして内服を嫌がったら時間をおいても一度。そして大事なことは**飲めたら、たくさんほめます。**

子供たちは薬を飲まなくてはいけないことも理解できます。私たちはごまかさず、あきらめずに対応していきたいと思っています。ですからお母さん方も今は飲めなくても、飲めないと決め付けずに根気よく挑戦してください。



体調を崩すと普段よりも甘えたりぐずったりして大人を困らせたりもします。特に普段ががんばっている子がそのような姿を見せているかもしれませんね。当室では個々のペースを大切に、ゆっくり身体を休めることができるように環境を整えています。



予約・問い合わせ 717-7819

ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp>

mail hoshinoko@bureau.tohoku.ac.jp